

平成会！と書くとご立派に聞こえますが、実際はS 6 3年から平成10年を中心に、総会後に集まって楽しく過ごす会。「そこから更なる発展を！」ということで、平成会会則を、紹介も兼ね、岡崎先輩（S 37卒）にあやかり俳句調でつくりました。よろしければご一読ください。



へ へいせいのわこうど集まる 楽しい会
 (解説) わこうど・・・もう古語ですね。ちなみに平成一桁前半はアラフォー近辺。わこうどといえるかどうか???

い いいんですあなたのままでそのまんま
 (解説) マイペースにやっています。適当に相互干渉しながら。10年強の長続きはそのおかげでしょう。

せ 世界観 ちょっとひろがる気がします
 (解説) 複数学年が80名程集まるのでちょっとした人材交流ができます。旧交を温めにきたのに新たな発見があります。あなたも、はよう来まい!

い いろいろな人がこの世にいるもんだ
 (解説) 平成高高卒の多士済々が集まるのだから、いろんな人材が集まります。まあ、にぎやかにやっています。(そろそろ落ち着いたらという声もありますが・・・)

か かがわけんほこりに思って生きてます
 (解説) 日々いろいろある東京生活。ただ、原点は忘れない。明日への元気が沸く会にしよう。というように公私に渡り、勝手にこの飲み会を正統化しとります。

い いくさきも 楽しくやろう へいせいかい
 (解説) いろいろなことがある世の中。そんな中で、同窓の集まりは、元気がもらえる大切な場所。さきざきも続く、そんな平成会を更に発展させていきたいと思います。

岡崎さん! どうでしょう。御講評賜りたく。ほんなら、平成会よろしくお願ひします。

連絡先: 斉藤 利幸 (H1 卒)
 t3saito@par.odn.ne.jp

Q1 同好会立ち上げの苦労は? 特段に苦労していませんが、こまめに行事をアナウンスし、参加者と共に自分も楽しく過ごすことを心がけています。

Q2 「新たな縁」づくりの工夫・取組は? 参加した人が仲間内で誘い合ってくれているので、それが新しい縁となって広がっています。参加者に楽しんでもらうことが、やはり第一です。

Q3 会員数の推移は? 現在は、総会後の飲み会で80名程度。10年前からほぼ倍増です(勝手に発展中)。これから会としてどのように形をつくり、何らかの活動ができないか考えていきたいところです。

Q4 新たな縁づくりに関する玉翠会サポートへの期待は? これまで通り、こうした誌面を通じての紹介の場と、後進を歓迎していただければ十分感謝です。